はままつWell-Beingアワード2025 応募申込書

【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

企業又は団体名:プロギング静岡

- ・地域幸福度(Well-Being)指標は、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感(Well-being)」を可視化する指標として、 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート(以下 SCI-Japan)が作成・開発した Liveable Well-Being City 指標 ® の別称です。
- ・Liveable Well Being City 指標を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、SCI-Japanに帰属しています。

No	項目	内容
1	取組やサービスの名称	プロギング静岡 〜ポジティブな力で足元から世界を変える環境×健康コミュニティ活動〜
2	取組やサービスの 対象・ターゲット	・健康意識と環境意識を両立したい浜松市民・地域コミュニティとのつながりを求める市民・SDGs・社会貢献活動に関心のある個人・企業
3	取組やサービスの内容	プロギングというゴミ拾い×ジョギングのSDGsフィットネスを実施 活動実績(2021年8月~2025年8月現在) 総参加者数: 3,107名 開催回数: 309回 ゴミ回収量: 1,766kg 開催頻度: 静岡県内月13回、浜松市内月1回(浜北地区) 活動地域: 静岡県13市町村(浜松市は浜北地区中心) 特別な取組み 聖隷厚生園(障がい者支援施設)とのコラボレーション(浜松駅で実施) プロギングフェス開催(浜松城公園で実施) 庄内半島さくら開花マラソンでの実施 静岡ブルーレヴズとの連携 掛川城30周年記念事業での実施 など

No	項目	内容
4	対象・ターゲットの幸福感向上のストーリー	(取組やサービスにより対象・ターゲットの幸福感がどのように向上するか、 仮説を立てて記載) ※末尾にある様式「幸福感向上のロジックツリー」を作成し、幸福感向上の 仮説を補足してください。 「ボジティブエネルギー変換」による多面的Well-Being向上 身体的Well-Being ・ 科学的根拠に基づく運動効果:しゃがむ動作により、通常のジョギングと比較して動効果1.2倍 ・ 継続的な健康習慣形成:4年間で3,107名の参加実績による健康増進コミュニティの構築・ 世代を超えた運動機会:様々な年代が参加可能な適度な運動強度 精神的Well-Being ・ ネガティブからポジティブへの変換:ゴミへの怒りを「交流×健康×環境貢献」の楽しさに転換 ・ 達成感と自己効力感:1,766kgのゴミ回収による具体的な環境貢献実感 ・ ストレス解消とメンタルヘルス向上:自然の中での適度な運動と社会貢献の組み合わせ 社会的Well-Being ・ 多様なコミュニティ形成:障がい者支援施設、スポーツチーム、企業との連携 ・ 世代間交流促進:自己紹介とコミュニケーションタイムによる人間関係構築・ ・ 社会貢献意識の向上:SDGs・CSR活動への参加機会提供 環境的Well-Being ・ 居住環境の質向上:地域の美化による住民の地域愛着向上 ・ 環境意識の醸成:「拾う人>捨てる人」のバランス反転への貢献

No	項目	内容
5	地域への波及効果	(対象・ターゲットの幸福感向上により、地域全体の幸福感へどのように波及していくか記載) 直接的波及効果 ・参加者の行動変容:3,107名の参加者が日常的な環境意識を向上 ・企業・団体への波及:聖隷厚生園との連携拡大 ・メディア効果:TV・新聞・ラジオ掲載による認知拡大 地域間波及効果 ・13市町村への展開:静岡県全体への活動拡大 ・他地域への影響:世界大会日本予選を浜松で開催し、全国への発信 長期的波及効果 ・持続可能なコミュニティ形成:4年間継続による地域文化としての定着 ・次世代への環境教育:子どもから大人まで参加する環境学習機会の創出 ・地域経済活性化:イベント開催による交流人口増加

No	項目	内容
6	取組やサービスの PDCAサイクルの設計	(取組やサービスについて、PDCAサイクルを効果的に実施するための方針を記載) ※実際に取組やサービスのPDCAサイクルが未整備であっても、検証方法や実施体制等の方針や構想を記載してください。 Plan (計画) ・ 月次開催計画: 13市町村での定期開催スケジュール策定 ・ 安全管理体制: ルート設定、救急対応、保険加入等の安全確保 ・ 連携企画立案: 地域団体・企業との協働イベント企画 Do (実行) ・ 継続的開催: 309回の開催実績による安定した活動実施 ・ 多様な参加機会: イベント参加、協力、スポンサーシップ、研修、レクリエーション ・ 広報活動: HP、SNS、メディア連携による参加者募集 Check (評価) ・ 定量評価: 参加者数 (3,107名)、ゴミ回収量 (1,766kg)、開催数 (309回) ・ 定性評価: 参加者アンケート、メディア掲載効果、連携団体からのフィードバック ・ 社会的評価: 世界大会日本予選開催、各種団体との連携実績 Action (改善) ・ 活動エリア拡大: 1市から13市町村への展開実績 ・ 連携強化: 障がい者支援、スポーツ、企業等との多角的連携発展 ・ プログラム多様化: 単発イベントから継続活動、研修プログラムまでの発展

No	項目	内容
7	取組やサービスを紹介したホー ムページやSNS等(任意)	(ホームページのURL等を記載) https://www.plogging-shizuoka.com/ https://www.instagram.com/plogging.shizuoka
8	取組やサービスの写真等(任意)	(写真等の画像を枠内に貼り付けてください) ※応募申込書ファイル自体の容量が10MBを超えてしまう場合は、 浜松市スマート申請の「応募申込書の提出」の補足資料1~3にてご提出く ださい。

Digital Smart City HAMAMATSU ターゲット: く幸福感向上のロジックツリー> ・健康意識と環境意識を両立したい浜松市民 ・地域コミュニティとのつながりを求める市民 ・SDGs・社会貢献活動に関心のある個人・企業 個人/家庭 地域 **Well-Being** 拾う人>捨てる人のバランス反転に ポジティブエネルギーによる (幸福感) よる持続可能な美しい地域づくり 多面的幸福感の向上 達成感・充実感:1,766kg回収による具体的成果実感 地域愛着の向上:美しくなった街への誇り 自己効力感:「自分も社会を変えられる」という実感 心の因子※ コミュニティ意識: 共通の目標に向かう一体感 ストレス解消:自然の中での適度な運動によるリフレッシュ 環境意識の醸成:持続可能な行動への動機 社会貢献感:環境改善への直接的貢献実感 健康行動の促進 環境配慮行動 社会参加行動 行動の因子 日常的ゴミ拾い:参加者の行動変容 コミュニティ活動:自己紹介・交流タイムへの参加 定期的運動習慣:月1回の継続参加 新しい運動体験:通常ジョギングの1.2倍効果 環境意識向上:家族・友人への啓発活動 ボランティア参加:継続的な社会貢献活動 持続可能行動: SDGs実践への動機向上 ネットワーク形成:新しい人間関係構築 世代間交流: 多様な年代との健康活動共有 物理的環境改善 社会的環境向上 環境の因子 地域美化:ゴミのない清潔な街づくり 協働体制構築:聖隷厚生園等との連携強化 運動環境整備:安全なジョギングコース確保 多様性受容:障がい者支援施設との共同活動 交流空間創出:参加者同十の集まる場の提供 企業連携:静岡ブルーレヴズ等との協働関係 取組/サービス プロギング静岡の継続的活動 定期開催: 浜松市内月1回、県内月13回 特別企画:プロギングフェス、世界大会日本予選 取組/サービス **多様な連携**:福祉施設・スポーツチーム・企業協働 安全管理:適切なルート設定 効果測定:参加者数・ゴミ回収量・継続率の記録

※出所:一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度(Well-Being)指標」、公開先:デジタル庁 https://well-being.digital.go.jp